



祝辞

那覇市 市長 翁長雄志 （代読）伊藝美智子 助役

情報公開で街づくり推進 建築設備のエキスパートへ

沖縄県設備設計事務所協会並びに建築設備技術者協会九州支部沖縄会の設備懇親会が開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに会員の皆様におかれましては、日頃より那覇市の建設行政に対しまして、ご理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、ここ数年の景気の低迷もようやく回復のきざしを見せつつありますが、建設業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

また、IT(情報技術)革命など技術革新と産業構造の変化、少子・高齢化による教育や福祉の枠組みの変化等、市政をとりまく内外の環境はめまぐるしく変化をしております。特に、『人にやさしい街づくり』をめざす那覇市にとりましては、環境や福祉に対する積極的な取り組みが要求されているものと考えます。

幸いにも、ここ数年の間に九州・沖縄サミットの開催と首里城での首脳夕食会、首里城跡をはじめとするグスク群の世界遺産登録、漫湖のラムサール条約登録と、本県と本市にとって、21世紀の足がかりとなるべき出来事が続きました。

その成果を、未来に向けて活かしていくことが今求められていると思います。本市においては、情報公開の積極的推進と市民参加により、市民の皆さまと共に街づくりを進めてまいります。

さて、13年度は母子生活支援施設建設工事の設計、小祿老人福祉センター増改築の設計、工事を予定しており、発注に際しこれまで同様、分離分割発注、県産資材の優先使用を進めてまいります。

会員の皆様におかれましては、協会組織の充実はもとより、建築設備のエキスパートとして、これまで以上に技術力の向上に研鑽され、建設業界のみならず地域社会の発展に大きく寄与されますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに沖縄県設備設計事務所協会並びに建築設備技術者協会のますますのご発展と、ご参加の会員様のご繁栄を祈念いたしまして、お祝いのごあいさつといたします。

